



高島学園

中学校だより 【卒業号】

令和5年 3月 15日

TEL36-0079 FAX36-8012

【文責 校長 浦島 容子】

○素晴らしい卒業式 夢に近づけ！55名の巣立ち

3月14日（火）第75回高島学園高島中学校卒業証書授与式、保護者の皆様に見守られながら、全校で9年生の門出を祝いました。55名に思いを寄せる、優しく、そして、幸せな時間が流れました。9年間の学習を修了した卒業生の立派に成長した姿に、しっかりと歩んでくれることを確信しました。そして、今までの感謝と祝福の気持ちのこもった7、8年生の送辞と歌に、頼もしさを感じました。式辞を裏面に載せています。55名の卒業生の新しい人生に、幸多かれ。



卒業式辞

今、手にした卒業証書、それは、世界に一つ、「あなただけの卒業証書」です。今日は、ご家族で、しっかりと見てください。最初の数字、伝統ある高島学園高島中学校の何番目の卒業生かを表しています。そして、大きな文字で、卒業証書と書かれています。次にあなたの名前です。名前の下にはあなたの生まれた日が入っています。どんな日だったでしょうか。あなたの生まれた日、その日が、どんな日であったとしても、あなたの周りで、たくさんの人が笑顔で喜んだ日だということは間違いありません。そして、あなたの名前です。あなたの名前には家族の願いが込められています。どんな願いなのでしょう。その下には、あなたが本校の教育課程の修了したこと、そして、卒業の日と続いています。今日までのたくさんの思い出が心の中につまっているでしょう。一番下には、私の名前です。この一年をこんなに素敵なあなた方と、高島学園とともに過ごせたことは何よりも幸せなことです。

昨年の四月、始業式でこんなことをお願いしました。「人が変化を創る令和の時代となって4年。変化を創る学校にしてください」と。
.....(略).....

一年間それぞれの活動は止むことがなく、「大事なことは常に変わらない」という強さを感じる一人ひとりの姿が今も目に浮かびます。こうして日常的に生徒が主体となって動く学校へと変わっていきました。

学校行事です。一学期の体育祭は、学校のまとまりを創る大切な行事です。体育祭のテーマは「必笑」でした。全校の一組団、二組団が対戦するときは、「勝利」を意識した熱い戦いぶりでしたが、それが終わると、お互い讃え合う姿に変わったのがとても印象的でした。特に全員リレーは全員の走力だけではなく、仲間を大切に思う気持ちがバトンで繋がれました。その尊さが高島学園の中心で渦を巻き、その渦に巻き込まれるように全校が一つになりました。一生懸命さは、必ずや笑顔を生むことを体育祭で示しました。

また、文化祭のテーマは「輝憶」。全校生が心から楽しめる文化祭を目指して、自分たちで考え、自分たちで動き、立派に創り上げたものは圧巻でした。スクリーンから飛び出したかのようなオープニング、全校を盛り上げた有志発表、三年ぶりにも関わらず美しいハーモニーを奏でた合唱、感動と涙をもさそった学年劇、いずれも質が高く、豊かで個性あふれる舞台を繰り広げました。小さなシールを張り合わせたステージ上の壁画のように個々の力が一つとなった輝かしい瞬間を記憶しています。

さて、絶好の天気のもと、全校で新旭の源氏浜から学校まで歩いた自然体験の日のことを覚えていますか。高島学園がコミュニティ・スクールとなり、6年が経ちました。登校時に見守ってくださる地域の方々を小学校のころから毎朝見かけたことでしょう。自然体験の日も、皆さんの良き思い出となるよう、多勢の地域の方が立ち番や水分補給をしてくださいました。一緒に歩いてくださる方々もありました。また、みたらし団子を作りながら皆さんの帰りを待つ方々もありました。このサプライズで疲れが吹き飛んだことを思い出しますね。ひたすら地域の子どもの成長を願う温かな方々に見守られて、皆さんは育ってきました。この思いを受けて、皆さんからも地域に貢献しようとする行動が生まれました。大溝城址の清掃作業や大溝マルシェの活動支援に参加をしてくれました。お弁当と共に届ける手紙の作成もありました。皆さんのやさしさに感謝の声がたくさん届きました。

また、読書活動を地域に広げようとする、呼びかけも皆さんの中から起こりました。今、高島学園と朝読書をしようとする動きが地域に広がり、ストリートライブラリーが誕生しつつあります。皆さんの行動から、地域に笑顔と活力を生み出すという変化が起こっているのです。これらのことが認められ、高島学園コミュニティ・スクールは文部科学大臣表彰を受賞しました。皆さんの胸元を彩るコサージュは、地域の方々からの手作りの贈り物です。

.....(略).....



卒業生の皆さん、できることならもっともっと時間を共にし、皆さんの活躍を近くで見たいと願いますが、それは許されません。名残は尽きませんが、お別れの時です。皆さんは、今日、この学園を旅立ちますが、皆さんの創り上げたことは語り継がれ、高島学園の伝統となり、いつまでも残ることでしょう。そして、皆さんの影響を大きく受けた、後輩が、しっかりと引き継ぎます。皆さんは次の社会で、思う存分、力を発揮し、自分の夢に近づいて行ってください。皆さんの前途が、ますます拓け、活躍の知らせが届くことを願います。